

『三国名勝図絵』より

社神万妻



歴史を歩く 46

おおさきの最大の歴史を旅してみませんか⑫
（大崎郷の最大の商業地として栄えた街（大崎上町地区））④

都萬神社所蔵の主な文化財
（※現在は大崎町中央公民館で保管）

国指定文化財

町指定文化財



まがきにきくそうじゃくもんようきょう
籬菊双雀文様鏡

かいじゅうぶどうきょう
海獣葡萄鏡



町指定文化財
かぐらめん
神楽面



11 都萬神社

祭神は『コノハナサクヤヒメノミコト』とその第三の皇子の『トコシロヌシノミコト（ホオリノミコト）』。創建は不詳。

『妻万神社』は古代日向国にあった5つの郡（臼杵郡・児湯郡・那珂郡・宮崎郡・諸県郡）ごとに建立されたもので、ここの都萬神社は諸県郡に置かれた『妻万神社』である。もともとは志布志市有明町原田にあったが、天文9年（1540年）に焼失し、この地に遷宮した。肝付氏や島津氏によって大切に守られてきた神社で、地元有力者によって奉納された銅鏡が多く所蔵されている。『籬菊双雀文様鏡』は国の指定を受けている。

明治44年（1911年）に社殿が台風で倒壊。宮大工の伊集院久長によって大正5年（1916年）に建て直された。拝殿・本殿・末社（稲荷神社・伊勢宮・五林大明神・山王神社）は文化庁によって登録有形文化財建造物に登録されている。本殿の軒に施されている十二支のレリーフは特徴的である。

都萬神社境内の西部分には西南戦争、日清・日露戦争、太平洋戦争に従軍し、亡くなった人々の慰霊塔が建てられている。



大崎上町地区